

## 北摂でも豪雨や台風で農業被害

**7**月から9月にかけて、記録的な猛暑や豪雨、台風などの自然災害が各地で猛威をふるった。年々厳しくなる気象条件の中で、農業は甚大な被害を受けている。特に9月4日に上陸した台風21号は、大阪府内の8割にあたる33市町村で被害をもたらした。府内ハウス面積の約3分の1が被災し、ビニールハウスの全半壊や一部損壊による被害金額は31.6億円にのぼる。北部でも、豊能町で約600万円、茨木市で約220万円など大きな被害をもたらした。ハウスの損壊で、栽培中のトマトや葉物野菜も雨風を受けて傷んだ。7月の豪雨でも畑や田んぼが水浸しになり、能勢町では水稲も被害を受けたという。露地野菜の多い箕面市では、農作物被害が至る所で発生した。箕面市農

被害のあった箕面市内の畑。「次の作物を植えたくても、台風後も雨が続き、なかなか作業が進みませんでした」と稲垣さん。多くの農家は、1〜2日の晴れ間に一気に畑を耕して植え付けを行なったが、土壌のコンディションは良くないという。



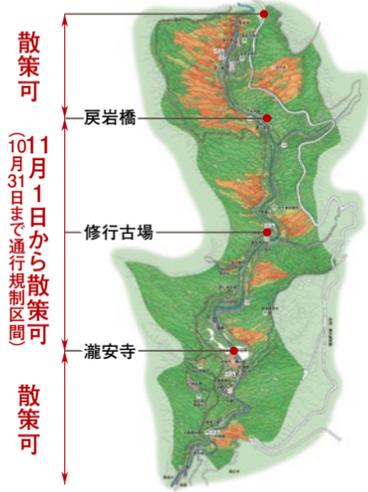
業委員会の稲垣さんは、市内でナスやキュウリ、ゴーヤなどの野菜を栽培している。9月初頭は収穫時期だったが、多くの作物が台風で傷み、栽培を中止せざるを得なくなったという。

こうした緊急の事態を受けて、農林水産省では再建や修繕に要する経費の一部助成を開始したところだ。家計への影響について北部農とみどりの総合事務所は、「秋以降、市場価格に響いてくる可能性はあります」と話す。自然災害の被害を軽減する農業対策が急がれる。

## 箕面大滝につながる山道の通行止めが解除

**平**成29年に接近した台風21号に続いて、今年も接近した台風21号が大阪各地に甚大な被害をもたらした。箕面公園は、土砂崩落と多数の倒木、また滝道の陥没によって昨年からの山道の一部通行止めを余儀なくされていたが、11月1日の午前11時に全面通行できるようになる予定だ。

紅葉の名所である箕面公園には年間200万人以上の観光客が訪れる。しかし相次ぐ台風の影響により来園者数が激減。被災後、滝上の駐車場から府道を通った園路からしか箕面大滝には行けなくなっていたが、今回の通行止め解除に伴って阪急箕面駅からも暫定的に来園者が通行できる状態となる。これから秋色が深まってくる季節に向けて、今まで以上に観光客が



増えることを期待したい。未だ一部園路には狭い箇所があるため、紅葉シーズン後に引き続き復旧工事をおこなって完全な復旧を目指す。

## 高槻市初 熱気球体験イベントを実施

**高**槻市観光協会は11月18日に、協会設立50周年を記念して熱気球係留体験搭乗イベントを実施する。高槻市初の試みで、子どもからお年寄りまで誰でも参加できるイベントを目指して企画された。参加者は、熱気球に乗って約15〜20mの高さまで上昇。上空から今城塚古墳をはじめ、高槻の街並みが望める。今回、「古墳フェス はにコト」とのコラボイベントとして開催日を同日に決定。観光協会

の担当者は、「市民の方はもちろん、市外からも多くの方に参加してほしい。普段なかなかできない体験を通して、新しい発見をしてもらえたらうれしい」と話す。



今城塚古墳公園で開催される。体験は有料・当日先着順受付。問い合わせなど詳細は、高槻市観光協会へ。電話 072-675-0081 ※写真はイメージ。

## 災害用食「飲めるごはん」販売開始

**J**A北大阪は、缶入り穀物飲料「農協の飲めるごはん」を開発し、8月から販売を始めた。熱や水を加えず手軽に栄養と水分補給ができるため、災害発生直後の初動段階に対応できる備蓄食だ。北摂産の米や国産ハト麦や小豆を使い、アレルギー特定物質27品目不使用で、小さな子どもから高齢者まで摂取可能。これまでに、全国の自治体や民間企業、団体等で採

用されている。「避難所をはじめ、人が集まる場所どこに行っても飲めるごはんがある。そのような状況になれば嬉しい」と担当者は話す。



梅・こんぶ、ココア、シナモンの3種類。30食入り1ケース単位(8,424円)で購入できる。問い合わせはJA北大阪 06-6877-5140

## 摂津市PR動画

### 世界的オルガン奏者 富田さんも協力

**摂**津市は、PR用スライドショー動画「いいとこ いいこと せっつ」を作製し、YouTubeでの公開を開始した。テクノポップ調のBGMに乗せて市内の名所などの写真86枚が表示される動画で、撮影を手がけた写真家の斎藤裕史さんは、2016年に50周年記念冊子用の写真も撮影。写真の美しさから同冊子は評判となり、全国から入手希望が寄せられた。そこで、冊子に掲載できなかった写真や新たに撮影したものを含めて、動画にして公開することにした。市がBGMの作曲を依頼したのは、同市在住オルガン奏者の富田一樹さん。富田さんは、日本人で初めて国際パッサコンクールのオルガン部門でグランプリを獲得した経歴をもつ。富田さんは、「斎藤さんが撮影した鮮やかな風景や人々、産業、鉄道などの写真に合うよう構成しました。テクノ風に仕上げた新鮮で聴きやすくなったと思います。約9分間を楽しんでほしい」と話す。



動画は、市のホームページからも閲覧できる。

## 北摂地区

### マイバッグ持参率8割近くを達成

部のスーパーマーケットでレジ袋無料配布の中止を実施した北摂地区の10市町は、6月のマイバッグの持参率が80%近くに達していたと発表した。取り組みに参加しているのは、イオンリテール近畿・カンパニー、イズミヤ、関西スーパーマーケット、光洋、ダイエー、阪急オアシス、平和堂、万代、ライフコーポレーションの9社。マイバッグなどの持参促進とレジ袋削減を目指す協定を2月に締結し、レジ袋無料配布の中止は6月1日以降、同地区内の110店舗で実施され、各社は1枚2〜5円でレジ袋を販売。実施前の5月には46.8%だったマイバッグの持参率は大きく向上し、6月には

スーパーに掲示されている、マイバッグ持参を呼びかけるポスター。



目標としていた80%に近い76.6%に達した。今後は、まだ協定を締結していない食品スーパーから、ドラッグストアやコンビニエンスストアへも拡大していきたい考えだ。豊中市の担当者は、「市民から一定の理解は得られていると思う。コンビニなどで無料配布をいきなり中止することは難しいため、マイバッグ持参推進として取り組みを進めていきたい」と話す。

## 11月は自転車マナーアップ強化月間 ～夕暮れ時は早めのライト点灯を～ 協力:大阪府警察



自転車マナーアップ強化月間ポスター

大阪府下における自転車関連事故は2018年8月末時点では、昨年同時期と比べて死者数は減少しているものの、件数と負傷者数は増加している。大阪府は全国的に見ても事故件数も多く、全交通事故に占める自転車関連事故の割合は30%を超えている。(平成29年中、発生件数及び負傷者数は全国ワースト)

毎年、夕暮れが早くなる秋～年末にかけて自転車事故が増加傾向に。相手に自分の存在を知らせるためにも、自転車に反射材を装着し、早めにライトを点灯しよう。また、日頃からライトの点灯確認などの点検・整備を行って、交通ルールを守り、事故に遭わないよう気をつけよう。

### 【自転車安全利用五則】

1. 自転車は、車道が原則、歩道は例外
2. 車道は左側を通行
3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
4. 安全ルールを守る  
飲酒運転・二人乗り・並進の禁止  
夜間はライトを点灯  
交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
5. 子どもはヘルメットを着用